

ビジネス EXPO

第32回 北海道 技術・ビジネス交流会

「アイデアを**創造**し、未来へ**発信**する。」



展示会、商談会、ビジネスセミナーなど大盛会
2日間の来場者数は**21,200名!!**

- 開催日：2018年11月8日（木）～9日（金）
- 出展者数：357企業・団体・大学・研究機関
- 出展規模：289小間、スペース864㎡

北海道の経済活性化や産業振興のため、新たなビジネスチャンスの創出を目指した北海道最大の展示会“ビジネスEXPO「第32回 北海道 技術・ビジネス交流会」”が11月8日(木)・9日(金)の2日間、札幌市白石区のアクセスサポロで開催されました。

今年で第32回の開催となりましたが、今回は、「アイデアを**創造**し、未来へ**発信**する。」をテーマに、出展者数は**357社・機関**、出展規模は**289小間**、スペース**864㎡**と、昨年同様、**過去最大規模**の開催となりました。なお、去る9月6日の北海道胆振東部地震により今回の開催が危ぶまれましたが、出展者のキャンセルも無く無事開催する運びとなり、震災からの復興、北海道経済の更なる回復・発展を目指し、「**震災復興”イノベーションで北海道を元気に!**」を合い言葉に開催いたしました。

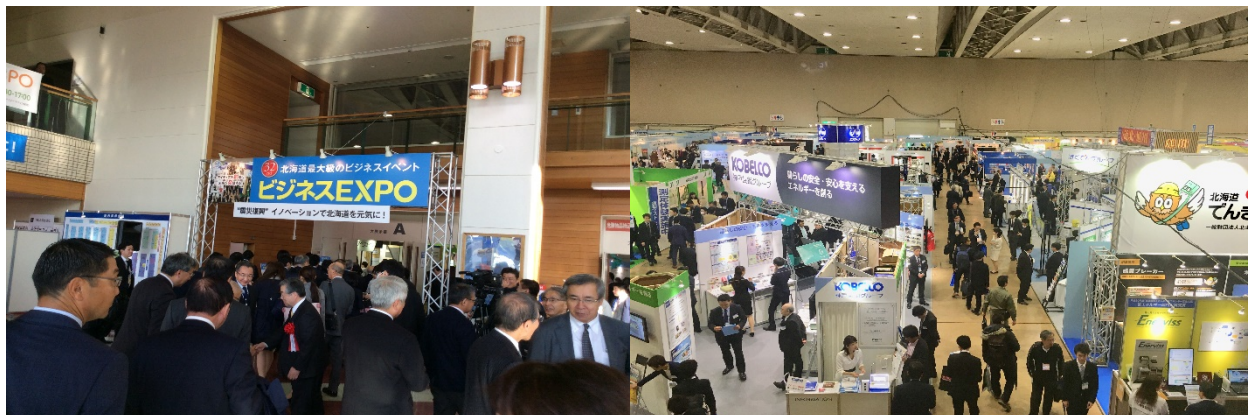
開会式では、名誉会長代理/北海道副知事 阿部 啓二、実行委員長(ノーステック財団理事長)高橋 賢友の開会挨拶を始め、牧野北海道経済産業局長、町田札幌副市長のご挨拶、及び、主催・同時開催機関計18名によるテープカットにより開会いたしました。

会場内は、5ブロックに分かれた総合展示会に加え、今年初めて「**先端技術ゾーン**」を設置いたしました。“到来する未来社会”をイメージする展示を目指し、道内外のロボット展示とデモンストレーションを実施する「ロボット・IoTワールド2018」、地震シミュレータ・震災対応ドローンなどを用意した「北海道VR推進協議会」、道内大学の最先端のAI・IoT、寒冷地対応EV、大樹町観測ロケット「MOMO」など、最先端イノベーションをお披露目いたし、大変な話題となりました。

同時開催事業としては、「スマート農商工連携@ビジネスEXPO」「機能性“素材・食品・化粧品”ビジネスマッチングin札幌2018」「平成30年度北海道ベンチャーシーズプレゼン会」が初めて開催され、例年の7事業に加え、**計10事業**が開催されました。また、ビジネスセミナーについては、魅力ある講演が相次ぎいずれも盛況であり、特に9日の“加藤一二三氏”特別講演会は会場に入りきれないほどの大盛況となりました。

会場には、経営者・ビジネスマンなど多数の来場者に加え、大型バスを連ねて見学に来られた大学・研究機関などの団体や、商工関係者グループなど遠来の見学者もあり、マスコミの注目も高く、ライブ中継など、多くの報道機関に取り上げていただき、各コーナーでは独創性のある製品や新しい技術等の情報に耳を傾ける様子が見られました。

さらに、道内の工業高校、高専、大学などへ、ビジネスEXPOへの来場をお願いし、学生向け企業説明会も開催いたしました。期待以上の多くの学生が来場し、各ブースの担当者に技術的な質問を真剣に投げかけ、就職に関する相談等を実施するなど、会場内は熱気に包まれていました。



2日間とも多数の来場者の方々にお越しいただき、さまざまな製品や技術を興味深くご覧いただきました。



今回の来場者は、過去最大の21,200名と、2万名超えを達成し、会場内は多くの人波となりました。平日開催ということで、BtoB、ビジネスマン向けのイベントと認識しておりましたが、例年にもまして、真剣な眼差しの経営者・ビジネスマン・大学生が集まり、また、一人あたりの滞留時間が例年にもまして長い兆候も見受けられ、会場内は大変な活況となりました。来場者からは、『こんな楽しいイベントはない』という多くの声が上がられ、道外出展者からは、『東北以北最大のビジネスイベントでは』という意見も聞こえており、大成功のイベントとなりました。

期間中の来場者などは、次のとおりとなっております。

●今年の入場者数

11月 8日(木)	9,988 名	(前年度: 9,922 名)
11月 9日(金)	11,212 名	(前年度: 10,928 名)
合 計	21,200 名	(前年度: 20,850 名)

近年になく、商談の成立やパンフレットの配布、受取名刺の数が多いなど、出展者の好評の声が多く主催者としても一安心の結果となりました。会場でご記入いただいたアンケート結果については、別途報告させていただきます。次回開催時も、多数の御出展および御来場をお願いいたします。